項	目	実 践 状 況
1 実践1 【校内研修	:]	今年度は、学校での人権教育全体計画を確認し、さらに全教員で、新教科書の導入に伴い、主に道徳科や社会科、国語科の授業と総合的な学習の時間で関連付けた人権教育を見直し、令和6年度人権教育推進計画を作成した。 日頃よりコンプライアンスについて資料を配付したり、計画的に職員研修の場を設定したりすることで意識の向上に努めた。また、全職員で動画を視聴し性的マイノリティの研修を行った。
		成果 令和6年度人権教育市町村教育委員訪問で、全体計画や推進計画について指導をいただき、さらに修正することができた。 昨年度、研修できなかった性的マイノリティの研修では、動画を見てLGBTについて学び、10%近くの人がいることを知り、児童にどのように伝えたり相談にのったりするかを考える機会となった。 様々な人権教育の資料を活用して、教師としての人権感覚を高めることができた。また、日頃からコンプライアンスの資料を読むことで、人権課題について意識付けができた。
		課題 人権教育に関する校内研修を計画的に位置付け、充実を図る。
2 実践2 【授業にお 人権教育】	ぶける	各学年で年度初めに年間指導計画を確認し、主に道徳科や社会科、総合的な学習の時間の授業と関連付けて人権教育を行った。 6年生の道徳科では、DVDアニメ「めぐみ」を視聴し、日本人拉致問題について理解を深めることができた。また、NHKデジタル教材を使い性的マイノリティについて学習することもできた。
		成果 6年生の拉致についての学習では、「拉致」と言う言葉を理解し、教師の「拉致は、人の命や気持ちを何だと思っているのか。」と言う発問で、児童は、拉致された人の人生や残された家族の悲しみについて深く考えることができた。児童は、「一人でも多くの人に知ってほしい。」「このような呼びかけに協力したい。」と感想を述べた。性的マイノリティの学習では、男女参画や女性の進出を中心に学習することができた。
		課題 各学年の教育活動を通して、自分と相手の人権について考える機会を もたせるように継続して指導していく。また、普段の生活の場面で、学 んだことを生かせるようにしたい。